

セラミックヒーター 分解清掃マニュアル



本 社 〒270-0223 千葉県野田市岡田618-3
<http://www.misato-plaheat.co.jp/>
info@misato-plaheat.co.jp

安全に関するご注意



必ずブレーカーを落としてから作業して下さい。

感電や怪我をする恐れがあります。



本作業マニュアルは日常に電気、及び機械の点検作業に従事されている方に向け、作成しております。



作業を行う際は、事故や怪我、器具の破損など無いよう十分に注意して下さい。

用意するもの

- ・+2プラスドライバー
- ・ソケットレンチ・モンキーレンチ
(8mmナット)
- ・各種手回り工具
- ・手が届かない場合に使用する脚立
- ・掃除機
- ・ハケ
- ・絶縁抵抗計
- ・テスター
- ・クランプメーター

分解手順一覧

1. 保護網と吸気ガラリを取り外す



2. セラミックパネルをスライドさせる



3. セラミックパネルを下す



4. セラミックパネルのケーブル

2本外す



5. セラミックパネルを持ち上げ

フックを外す



6. セラミックヒーター本体内部・ファンの

清掃を行う



7. セラミックパネルを立て掛ける



8. 額縁のビスを外す



9. セラミックパネルからヒーターパネル
を引き抜く



10. セラミックパネル内部の清掃を行う



11. ヒーターパネルを元に戻す



12. 8で外した額縁を取り付ける



13. 額縁の四隅が合っていることを
確認する



14. 逆の手順で組み付けを行う



絶縁抵抗測定



試運転

1. 保護網と吸気ガラリを取り外す



固定用のM5サイズのビスを12本緩めて下さい。

ステンレス製のビスのため、紛失にご注意下さい。

※電動工具は使用しないようご注意ください。

穴のアンカーは点付け溶接で建て込まれているので、過度な力が掛かるととも回して緩められなくなります。

2. セラミックパネルをスライドさせる



セラミックパネルは4本のフックで固定されています。

矢印の方向に約3cmスライドさせることにより、2本のフックが外れます。

※セラミックパネル表面は素手で触らないようにご注意ください。

皮脂が付き、次回運転時に皮脂の焼き付きが起こります。

3. セラミックパネルを外す

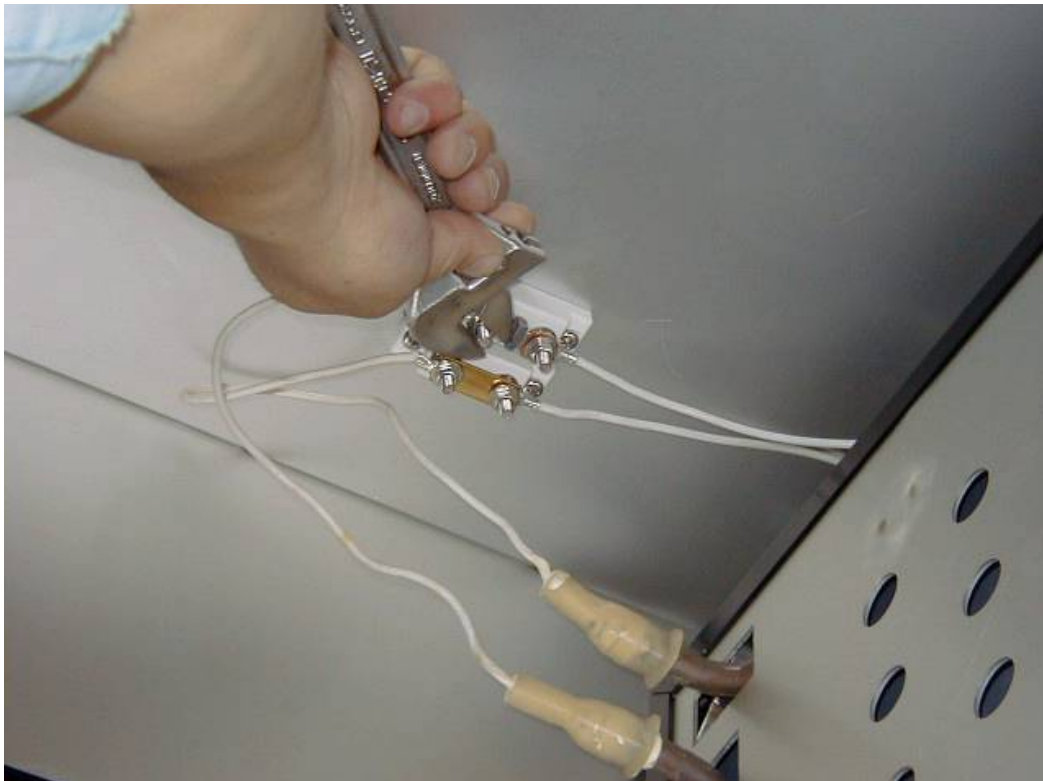


上の写真の様にセラミックパネルをスウィングさせて、セラミックパネルを吊るします。



このとき左の写真のように、しっかりフックが掛かっていることを確認して下さい。

4. セラミックパネルのケーブル2本外す



M5のナット(8mm)を緩め、ケーブル2本を取り外します。

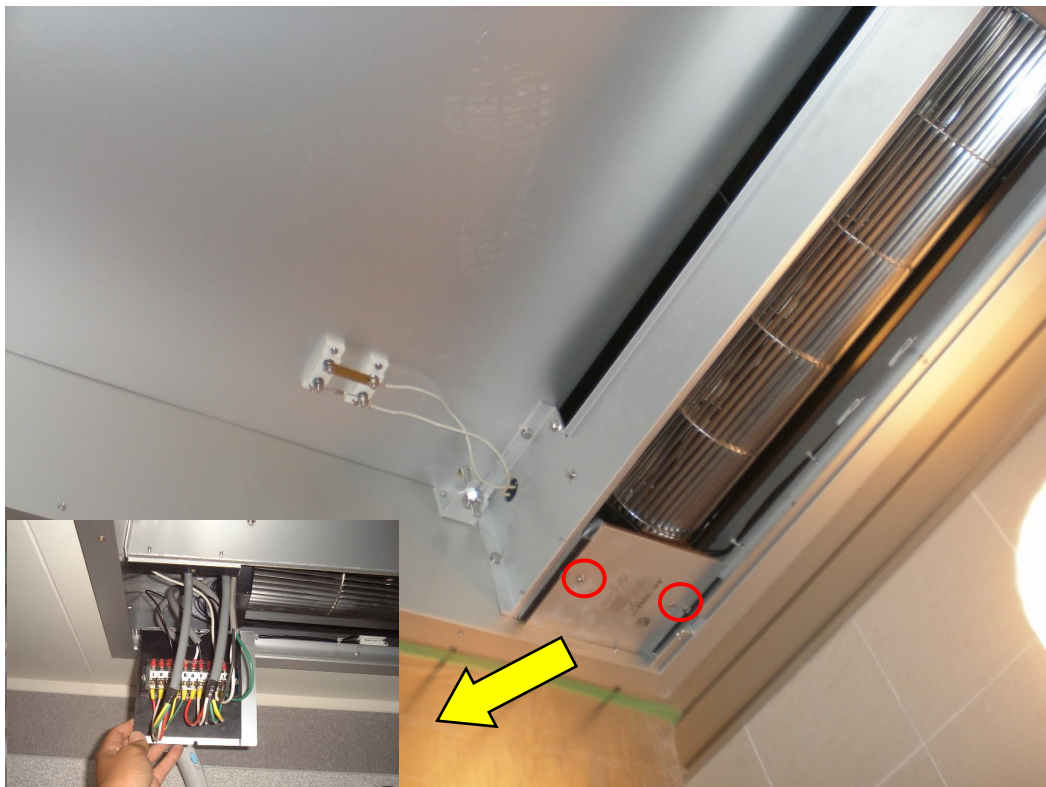
※端子ガイシは割れやすいため、力をかけすぎないように注意して下さい。

5. セラミックパネルを持ち上げフックを外す



両手でセラミックパネルを持ち上げ、引っかかっている2本のフックを外し、セラミックパネルを取り外して下さい。

6. セラミックヒーター本体内部の清掃を行う



端子台内部

※○印のビス2本外す

掃除機やハケを用い、何部に堆積しているホコリを除去して下さい。

ホコリがファンに絡みつき、異音の原因となります。

○印のビス(2本)を緩め、端子台の清掃をして下さい。

端子台にホコリが堆積していると、不具合の原因になります。

端子台復旧時は各ケーブルを整線し、復旧して下さい。

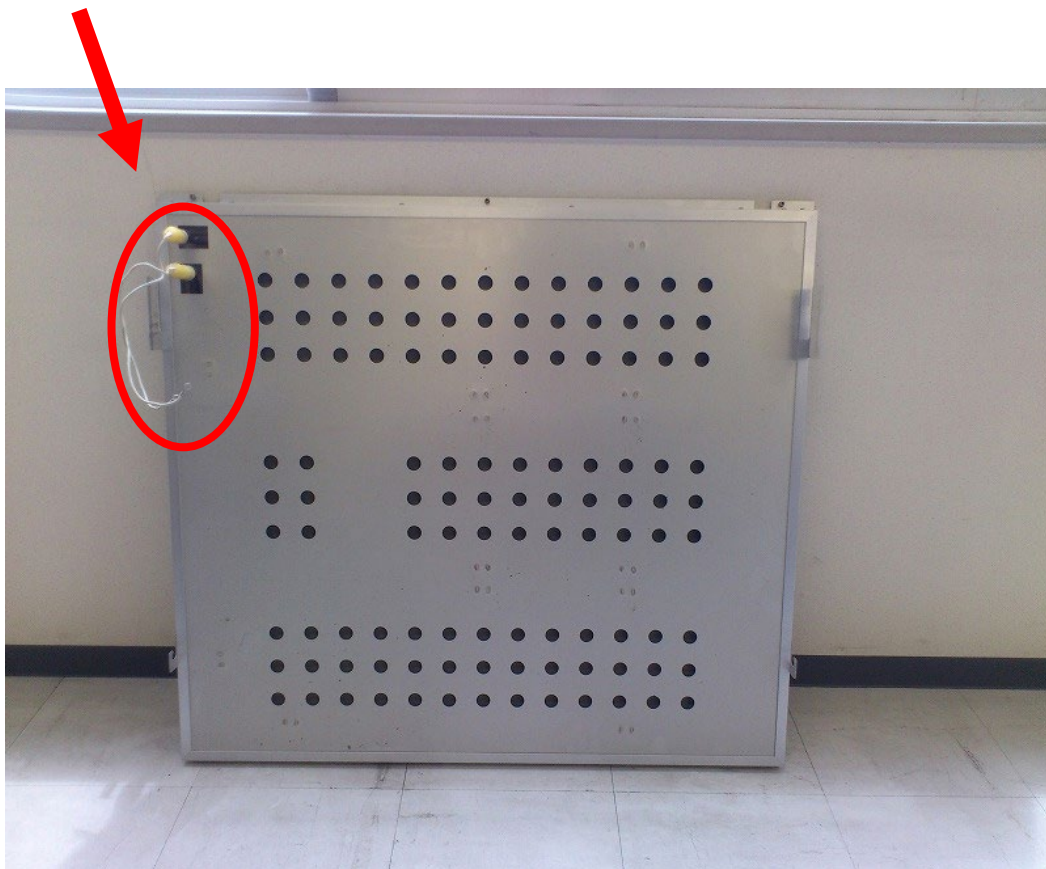
ファン側面にケーブルが接触し、異音が発生することがあります。

完了時はファンを指で回転させ、異音の無いことを確認して下さい。

※ファンの羽及び内部も、掃除機・ハケを使用し、ホコリを除去して下さい。

7. セラミックパネルの清掃

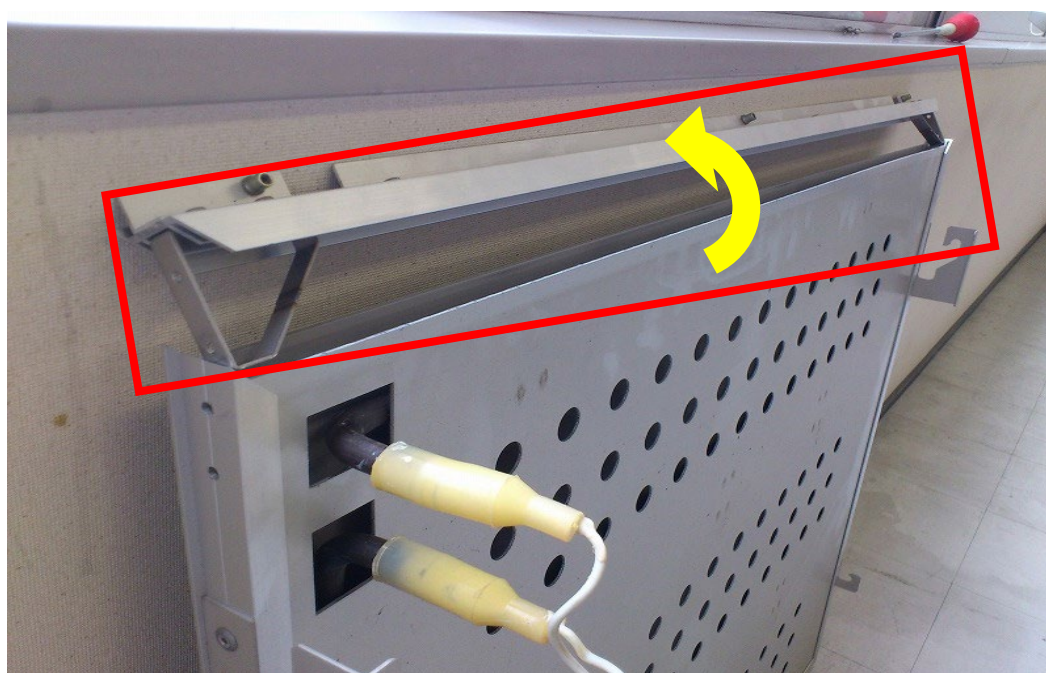
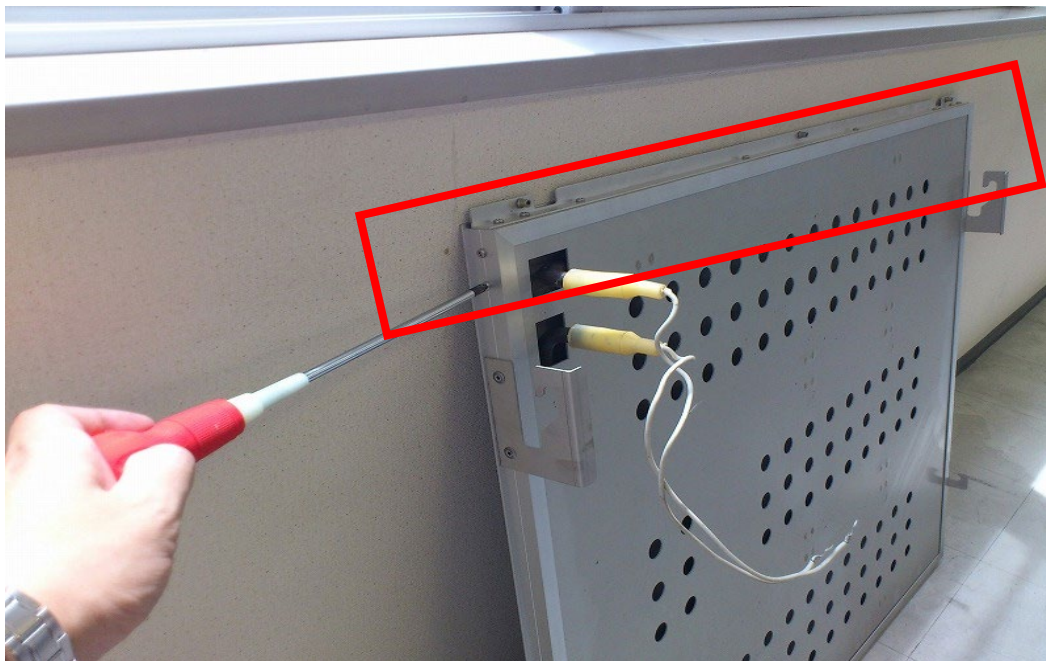
※ケーブル露出部分は易損箇所のため、
取扱いに注意して下さい。



セラミックパネルを壁に立てかけます。

セラミックパネル表面が傷つかないように注意して下さい。

8-1. 額縁のビスを外す(旧タイプ)

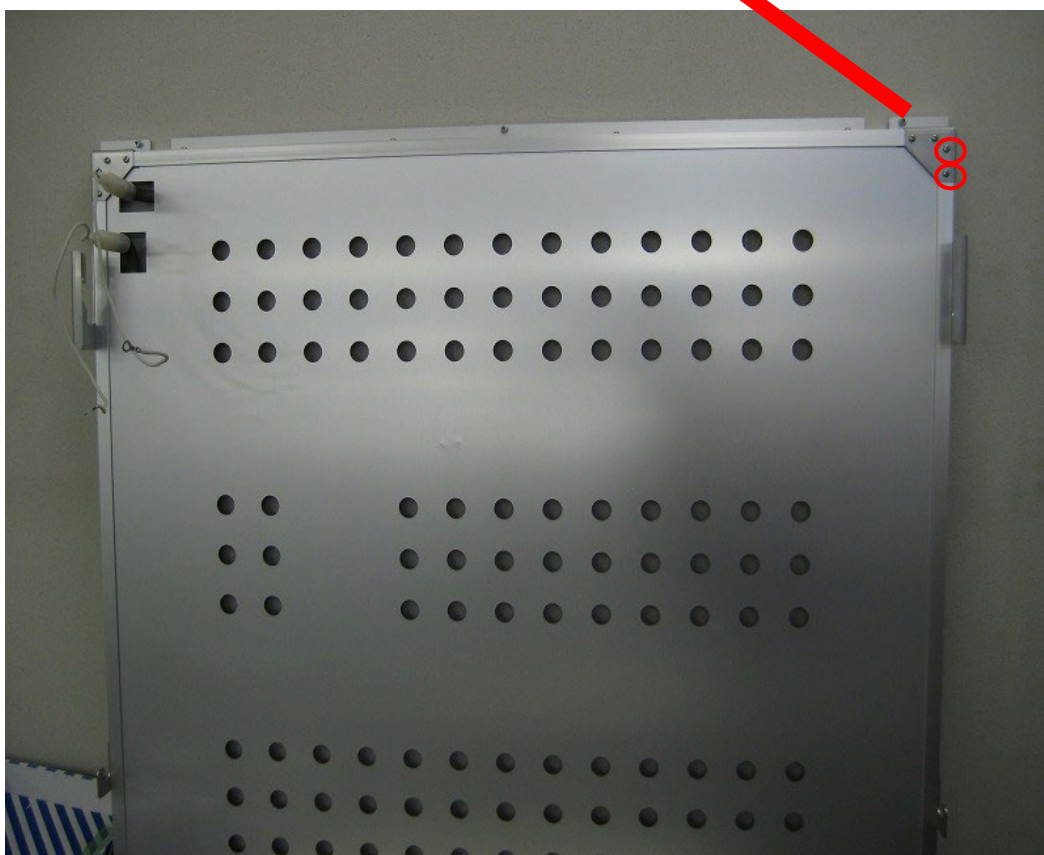
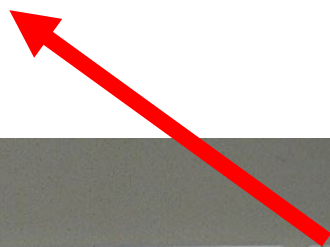


写真の位置のビス(左右共に4本)を外し、縁側を上に取り上げます。

8-2. 額縁のビスを外す(現行タイプ)

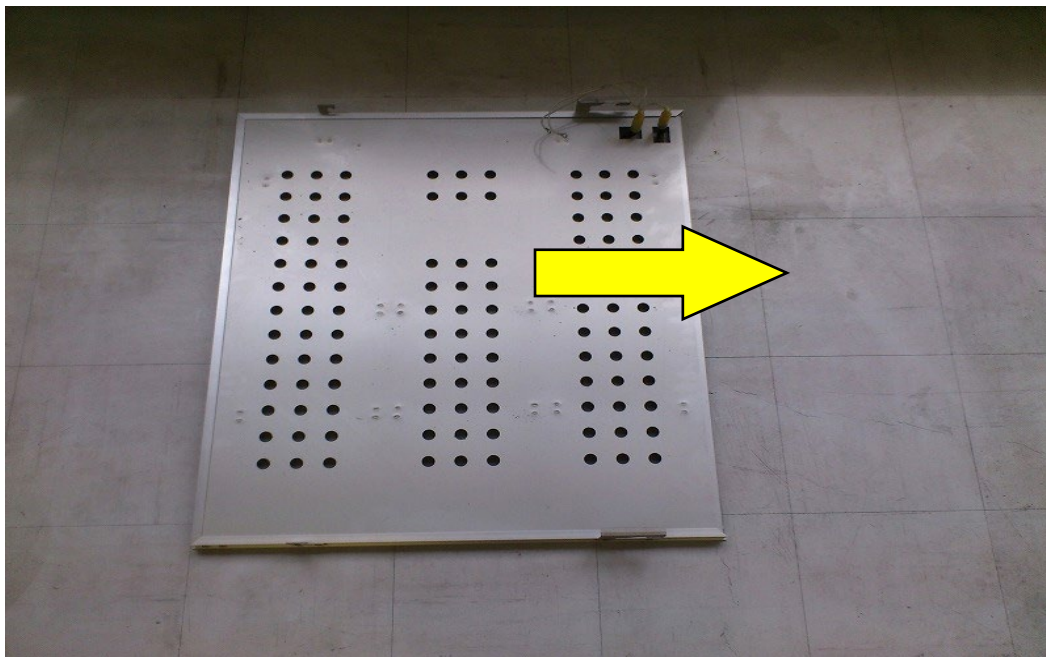


拡大図

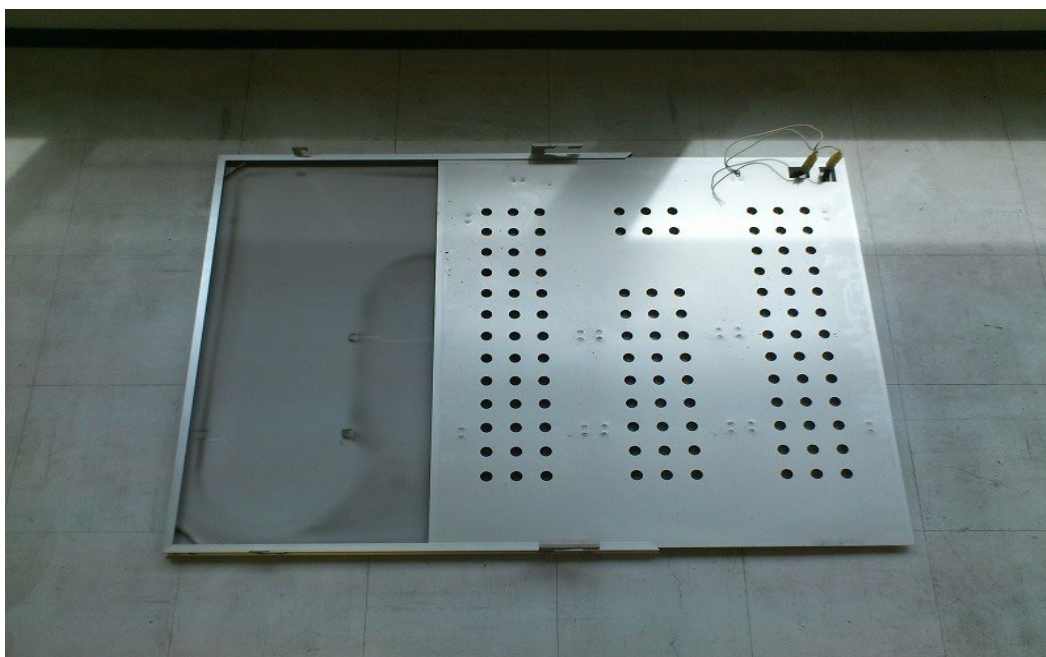


○印のビスを左右共(計4本)を外し、上に引き抜きます。

9. セラミックパネルからヒータパネルを引き抜く



矢印の方向にヒータパネルを引き抜きます。



引き抜いた状態。

10. セラミックパネル内部の清掃を行う

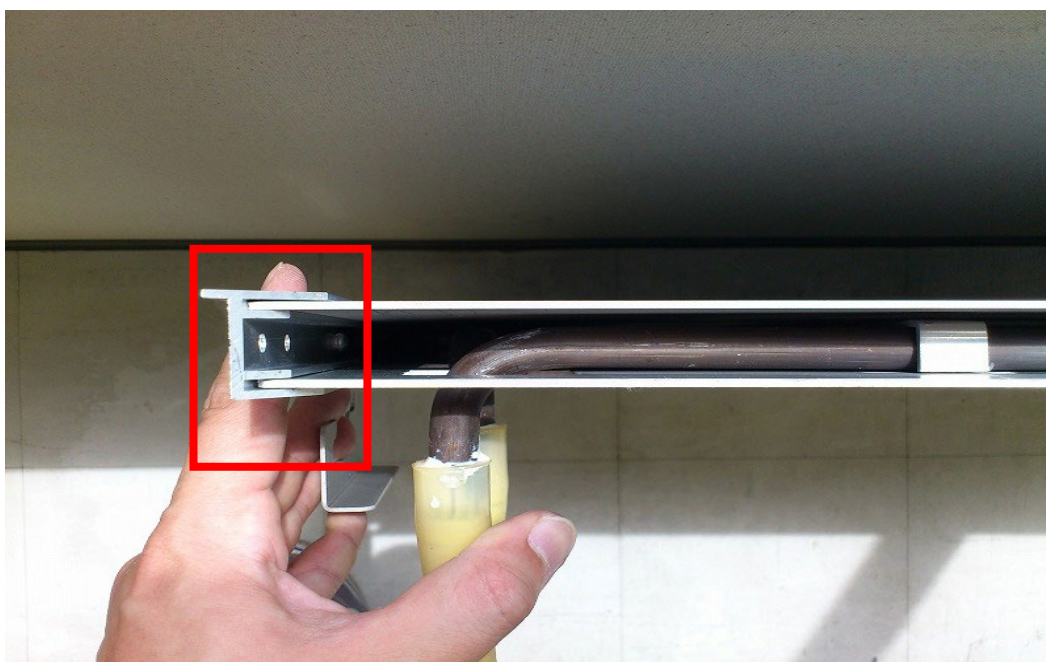
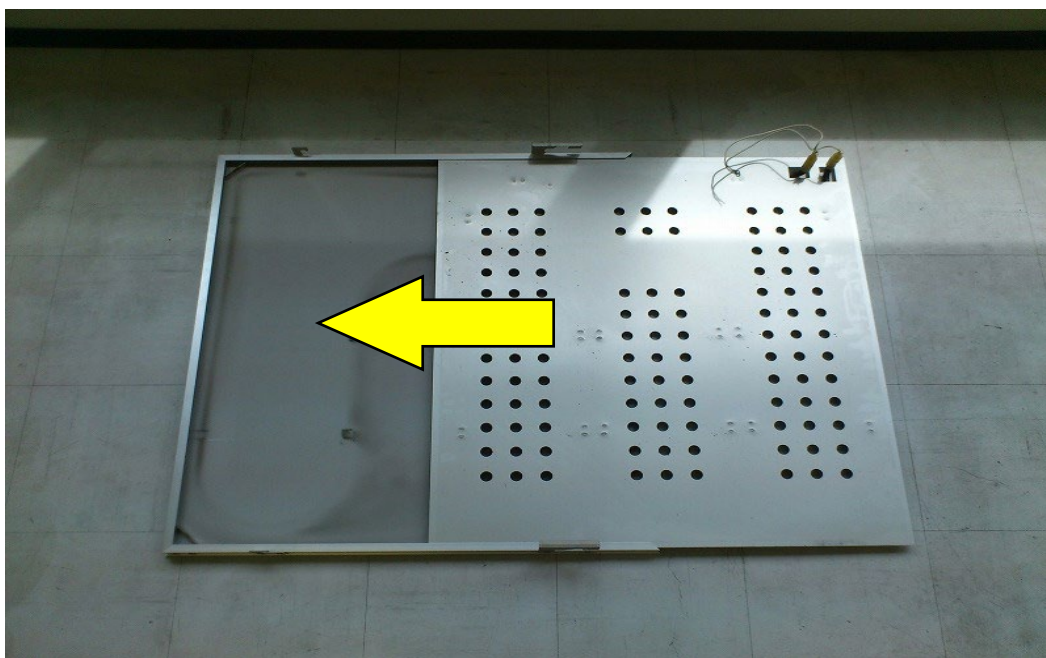


掃除機やハケを用い、内部に堆積しているホコリを除去して下さい。

ファンのフィン内部も、ホコリが付着します。

掃除機等で除去して下さい。

11. ヒーターパネルを元に戻す



ヒーターパネルが額縁の溝(全周囲)に入っていることを、確認して下さい。

溝に入っていないと、穴位置が合わず額縁が取付られません。

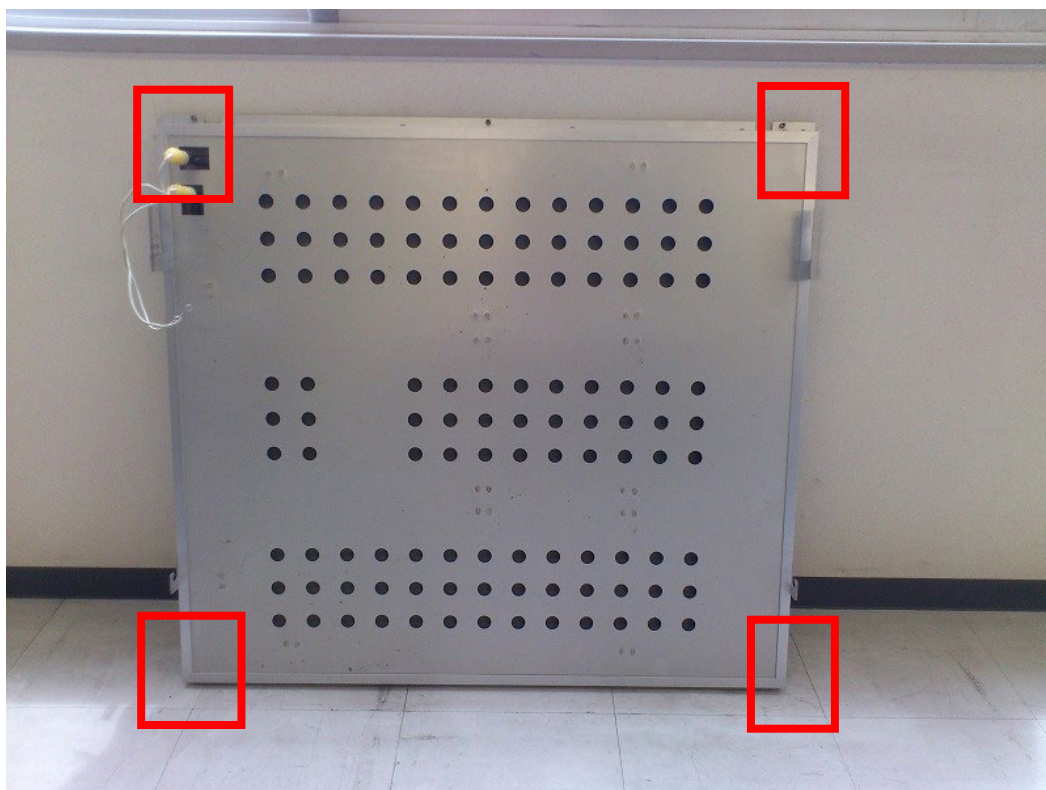
12. 8. で外した額縁を取り付ける。



ヒーターパネルが額縁の溝(全周囲)に入っていることを、確認して下さい。

溝に入っていないと、穴位置が合わず額縁が取付られません。

13. 額縁の四隅が合ってることを確認する。



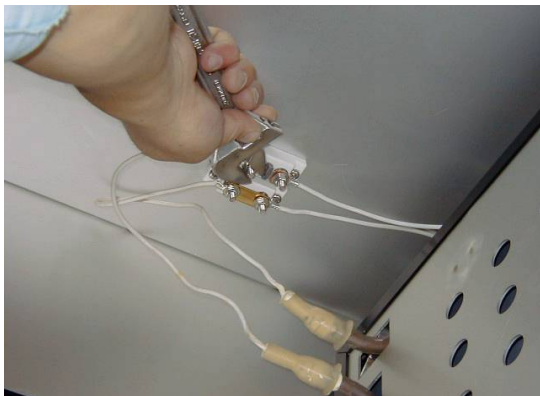
清掃作業中に額縁がずれ、セラミックパネルも溝から外れる場合があります。

セラミックパネル・ヒーターパネルが溝に入っていることを確認するために、
四隅に隙間が空いていないことを確認して下さい。

14. 逆の手順で組み付けを行う



1. セラミックパネルのフックをかける



2. ヒーターから出ているケーブルを結線する

※端子ガイシは割れやすいため、力をかけすぎないように注意して下さい。



4. セラミックパネルをセラミックパネルをファン側へ
約3cmスライドさせ固定させる

※仮固定なので落下に注意して下さい。



5. 吸気ガラリ・保護網の順で取付

作業完了です。



3. セラミックパネルをスイングさせる。

※吸気ガラリを取り付ける際、方向に注意して下さい



NG



OK

吸気ガラリの取り付け方向が逆になると、吸気音が大きくなります。

上の図の様に、確実に取り付けて下さい。

試運転：正しく組み付けが完了してから、試運転を実施します。

1. 運転開始前に電源ブレーカーを落としたまま、絶縁抵抗値の測定を行って下さい。
ファンとヒーターの漏電を確認します。（測定方法は別紙参照）
2. 絶縁抵抗値に異常が無ければ運転を開始し、電流値（14A前後）を測定して下さい。
定格消費電力は、2.87/2.89kW（50/60Hz）です。
3. 電流値に異常が無ければ、通常使用環境で30分ほど試運転を行って下さい。
ヒーター温度の上昇が確認できれば作業完了です。

※2015年2月以前のモデルについては、運転開始と同時にファンが動作します。

※2015年3月以降のモデルについては、運転開始の5分後にファンが動作します。



以下のことに注意して下さい



※試運転終了時は、必ずコントローラー・制御盤にて停止させて下さい。

ブレーカーで強制終了すると、安全装置が作動して、内部の温度ヒューズが遮断してしまいます